



□ — 「ホッカイドウ」の「アグリ」に関する「ホカホカ」情報を—

□□□□ 北海道農政事務所メールマガジン『ホカグリ通信』

□★□□□□ □

□□□□□□□□ 農林水産省北海道農政事務所

□ □□□□□ <https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

□ □□ 令和4年1月28日発行 vol.74



<目次>

- 【1】ホカグリ情報局
- 【2】イベント情報
- 【3】現場のきら星☆ 「農業者として地域に根差しながら」岡村若桜さん（江別市）
- 【4】地方参事官こぼれ話 釧路地域拠点 井田 守

■□■□■□■□■□<1.ホカグリ情報局>■□■□■□■□■□■

(1) 「みどりの食料システム戦略」技術カタログを公開しました。

▽農林水産省は、1月27日に、みどりの食料システム戦略の実現に向け、現場への普及が期待される技術を取りまとめた「みどりの食料システム戦略」技術カタログを公開しました。

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

(2) 有限会社丸勝池田精肉店における牛の個体識別番号の不適正表示に対する措置について

▽北海道農政事務所は、有限会社丸勝池田精肉店（以下「池田精肉店」という。）が、特定牛肉に事実と異なる牛の個体識別番号を表示して販売していたことを確認しました。

このため、1月28日に、池田精肉店に対し、牛トレーサビリティ法に基づき、表示の是正と併せて、原因の究明・分析の徹底、再発防止対策の実施等について勧告を行いました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/anzen/hyoji/220128.html>

(3) 日本地理的表示協議会（JGIC）が設立されました。

▽1月19日に、地理的表示（以下「GI」という。）保護制度の更なる発展を目指すため、日本地理的表示協議会が設立されました。

本協議会は、(ア)全国のGI登録団体が製品の種類や地域を超えて、制度の認知度向上、GI製品全体の販路拡大、侵害対策等に力を合わせて取り組むとともに、(イ)その際、生産・流通の川上から川下まで、また金融・商工・地方行政など様々な分野の関係者の力を借りながら取組を進めることを目的としています。

http://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/220119.html

(4) 「スマート農業産地形成実証」の公募をしています。

▽国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構は、2月7日までの間、生産者の参画の下、産地単位で作業集約又はシェアリングに取り組み、スマート農業技術をより効率的に活用することにより、コストを低減し、収益性を向上させる取組について実証する者を広く募っています。

応募締切：令和4年2月7日（月） 12:00

下記 URL から募集要項を確認の上、ご応募をお願いします。

https://www.naro.go.jp/project/research_activities/laboratory/naro/145371.html

(5) 令和4年度の専門調査員（統計業務）を募集しています。

▽北海道農政事務所は、2月14日（月）までの間、専門調査員（統計業務）を募集しています。

<http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/bosyuu/senmontyousain/senmontyousain.html>

(6) 統計情報

○「令和3年産 水稲（子実用）の市町村別作付面積及び収穫量（北海道）」を公表しました。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/index.html#suito>

○北海道の農林水産基本データ集を更新しました。

<http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/kihondata/kihondata.html>

(7) BUZZ MAFF『なまらでっかい道』をご覧ください。

▽農林水産省は、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を伝えるため、職員がスキルや個性を活かして、省公式 YouTube チャンネルで情報発信をしており、北海道農政事務所でも「なまらでっかい道」というチームが発信しています。

12月発信動画

・【ごめんなさい】ルーティーン動画撮ろうとしたら失敗した！（農水省職員・29歳・道産子）

<https://www.youtube.com/watch?v=8BndLmr6VVQ>

・Happy 乳 Year!!（まだ、ウシ年だけ。。）「NEW（乳）プラスワンプロジェクト」

<https://www.youtube.com/watch?v=dfzSrJAm9JM>

1月発信動画

・【アイヌ料理】入省1年目凸凹コンビが普段料理をしているのか、バレます。

<https://www.youtube.com/watch?v=BFVxlvRXs9I>

○BUZZ MAFF『なまらでっかい道』の web ページ

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/buzzmaff/index.html>

(8) 農林水産省広報誌「aff（あふ）」をご覧ください。

▽「aff（あふ）」は、消費者の皆さん、農林水産業関係者の皆さん、そして農林水産省を結ぶウェブマガジンです。1月は、「地域を守る鳥獣対策」を特集しています。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

日 時：令和4年2月25日（金）15:00～16:00
会 場：オンライン配信（Zoom）
定 員：90名（先着順）
申込締切：令和4年2月23日（水）

下記 URL からお申し込みください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/hakodate/r40225moushikomi.html>

○「令和3年度 食品ビジネスと SDGs 勉強会」の御案内について

北海道地方環境事務所では、ESG 地域金融について個別分野で深掘りした知見を得ることや地域の事業者の先進的な取組を知ることを目的として、「食品ビジネスと SDGs」に着目した勉強会を開催します。北海道農政事務所も参加し、みどりの食料システム戦略等について説明します。

日 時：令和4年2月4日（金） 13:30～15:30
会 場：オンライン開催（Zoom）
定 員：200名（先着順）
申込締切：令和4年2月2日（水）12:00

下記 URL からお申し込みください。

<https://epohok.jp/act/info/14514>

○「酪農・牛乳あるある」川柳コンテスト募集の御案内について

北海道釧路市阿寒町で酪農に携わっている若手女性農業者で結成された Becotto（ベコット）は、「酪農・牛乳あるある」川柳を募集しています。酪農に関するおもしろい体験、牛との思い出や牛乳にまつわるエピソードを、5・7・5の17音で表していただき、応募してください。

締 切：令和4年2月10日（木）

詳細については、下記 URL を確認してください。

<https://www.facebook.com/Becotto946/>

○「HACCP インストラクター育成講習」の御案内について

農林水産省では、食品等事業者の皆様に HACCP の導入に向けた人材育成や知識習得をしていただくため、研修開催への支援を実施しています。

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/koudou/what_haccp/kensyu.html

この度、食品事業者の輸出促進を前提とした衛生管理や HACCP の考え方、ISO22000 や FSSC22000 といった規格に関する解説、実在する食品工場を題材とした実践的ワークショップ等を行う「HACCP インストラクター育成講習」が開催されます。

日程及び会場：オンラインでも配信（Zoom）

- ・令和4年2月14日(月)、15日(火) 北海道会場(札幌市)
- ・令和4年2月24日(木)、25日(金) 沖縄会場(那覇市)

定員（会場参加）：各会場15名

費用：27,500 円

下記 URL からお申し込みください。

<https://foods-a.co.jp/seminarlist/uketsuketyuu/2019-09-26-01-51-48>

○「食品衛生微生物研修会（3級）」の御案内について

（一社）北海道食品産業協議会では、食品製造加工施設における微生物に由来する食中毒事故の危害分析や食品製造衛生管理の検証ができる専門技術者の養成を図るため、次のとおり微生物対策に関する研修を開催します。

日 時：第2回 令和4年2月15日(火)～17日(木) 9:00～17:00

会 場：(株)北炭ゼネラルサービス苫小牧環境センター
(苫小牧市あけぼの町1丁目3-3)

受講対象：主に道内の食品製造企業において衛生管理業務を行う者

参加費用：(一社)北海道食品産業協議会会員 25,000 円、非会員 40,000 円

下記 URL からお申し込みください。

http://www.hofia.org/topics4c/topics_single.cgi?arg=763

■□■□■□■□■< 3. 現場のきら星☆ > ■□■□■□■□■

★今月のきら星・・・「農業者として地域に根差しながら」 岡村若桜さん (江別市)

江別市の若手農業者、農業生産法人 株式会社巴農場の専務取締役 岡村若桜(わかさ)さんをご紹介します。

岡村さんは、大学卒業後、関東においてシステムエンジニアとして勤務し、2007年にお父さんが役員をしている農業生産法人株式会社巴農場にUターン就農。就農直後は休みがなく、朝から晩まで働き続ける毎日でしたが、その経験から働き方の改善を考えるようになりました。10年間試行錯誤しながら、特に作業効率化による労働時間の短縮、労働環境の整備等に力を入れ、少しずつ改善してきたそうです。

2021年には役員交代で専務取締役に就任し、現在は米を中心とした大規模な営農に加え、直販や店舗販売、ふるさと納税の返礼品と多岐にわたる経営を行っています。

一方、JA道央では青年部長の重責も担っています。就任以降、コロナ禍になり交流会や勉強会などの活動自粛、中止を余儀なくされる状況が続き、顔を見ていない部員も多いとの話。このようなか、青年部の連絡手段の新しい試みとして、昨年スマートアプリの導入を実現した行動派です。

また、農業を広く知ってもらうためのポッドキャスト番組「バカ農業」を地元の若手農家3名で2012年から2021年まで独自の方法で発信。現在は、不定期ながらも1人で全国の農業者、若者リスナーへ農業の身近な話題などの情報を配信しているそうです。

「これからは会社としての事業継続、青年部としての地域コミュニティの維持が重要になります

▽北海道農政事務所の各地域拠点では、Web サイトを開設しています。地域の取組や身近な情報の発信などを行っていますので、ぜひご覧ください。

○札幌地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/index.html>)

・水田政策「水田活用の直接支払交付金の見直し等」に係る説明会が開催されました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/photorepo/torikumi/20211220_setumei_jatoma.html

・再生可能エネルギーの地産地消を目指し「らんこし米」のもみ殻を有効活用

https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/photorepo/gannba/20211215_rankoshi_momigara.html

○函館地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/index.html>)

・第1回「地域資源を有効活用した地域振興」をテーマとしたオンラインセミナーを開催しました

https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/photorepo/torikumi/20211207_online_seminar.html

○旭川地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/index.html>)

○釧路地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kushiro/index.html>)

○帯広地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/index.html>)

・北海道地区「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定証授与式を行いました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/photorepo/torikumi/20211214_discover.html

○北見地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>)

・畑の野良イモ防止「雪踏み」作業を取材しました。

https://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/photorepo/gennba/yukihumi_220113.html



◇以下は、前号までにお知らせした内容の再掲です。

(9) 令和4年度農林水産予算概算決定の概要について

▽12月24日に、令和4年度農林水産予算概算決定の概要が取りまとまりました。

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r4kettei.html>

(10) 年末年始の牛乳消費拡大に向けて「NEW(乳)プラスワンプロジェクト」開始!

▽例年寒さとともに牛乳の消費量は減少します。これに加え、冬休みには牛乳消費量の1割を占める学校給食用牛乳の供給が休止することなどから、年末年始は特に牛乳の消費量が減り、処理可能な生乳の発生が懸念されています。

このため、農林水産省では、牛乳の消費拡大に向け、「NEW(乳)プラスワンプロジェクト」を開始しました。

https://www.maff.go.jp/j/press/chikusan/c_gyunyu/211217.html

(11) 令和3年度全国ジビエフェアを開催します。

▽農林水産省は、ジビエ（野生鳥獣肉）をもっと知って食べていただく取組の一環として、2月28日までの間、令和3年度「全国ジビエフェア」を開催します。この間特設サイトにて、ジビエメニューを提供する飲食店やジビエ商品を販売する小売店の情報を提供します。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/211027.html>

(12) 新型コロナウイルス感染症に係る相談窓口を設置しています。

▽農林水産省は、新型コロナウイルス感染症に係る農業者や食品事業者等からの相談に適切に対応するため、相談窓口を設置しておりますので、お困りのことがありましたら、ご相談ください。

○北海道農政事務所企画調整室

担当者：倉知（クラチ）、正満（ショウマン）

電話番号：011-330-8801

FAX 番号：011-552-0530

対応時間：平日9時00分から17時00分

全国の相談窓口一覧

http://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html#c06

○水産仲卸業者サポート窓口（水産庁加工流通課等）

電話番号：03-6744-2351

E-mail：suisan_nakaoroshi@maff.go.jp

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kakou/210224.html>

○新型コロナウイルス感染症対策（内閣官房）

▽新型コロナウイルス感染症対策に関する情報の全般について、内閣官房のWebサイトに掲載されています。

<https://corona.go.jp/>

(13) 子どものコーナーを掲載しています。

▽北海道農政事務所は、Webサイトにおいて子どものコーナーを公開し、農産物クイズや、スプラウトの栽培体験などを掲載しています。主な対象は小学校4年生～6年生ですが、皆様ぜひご覧いただき、感想をお寄せください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kids/top.html>

=====
<編集後記>

1月はあっという間でした。お正月に食べ過ぎましたが、そろそろなかったことになっているかなと期待している日々です。本年も様々な情報をお伝えしていきますので、どうぞよろしくお願

ます。

(担当：浅石)

=====

◇次回は2月下旬に配信予定です。

◇北海道農政事務所メールマガジン「ホカグリ通信」では、配信登録者を募集しています。ぜひお知り合いにもご紹介ください。

◇メールマガジンの配信をご希望の方はこちら

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

◇バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/hok_agri_tsushin.html

=====

編集・発行：農林水産省北海道農政事務所 企画調整室

このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。

本メールマガジンに関するご意見・ご感想をお寄せください。

TEL:011-330-8801 FAX:011-552-0530

E-mail：hokaguri_tsushin000@maff.go.jp

=====